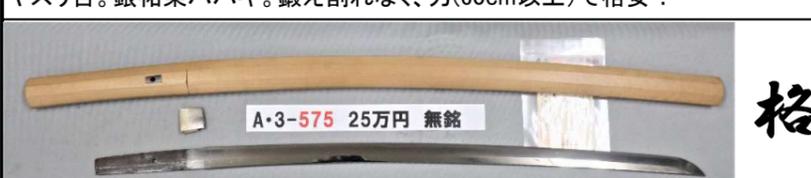


刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
F・3-582	60	兼法	29.8	0.3	3	室町末	乱	2.8	0.6	1.7	0.4	202	福島23123	昭39	D・3-573	13	兼光	46.9	1.0	1	室町末	乱	2.7	0.6	1.7	0.5	358	愛知62545	平2
さび、刃こぼれなし。平造。杓目鍛え。互の目。生茎。栗尻。表棒樋掻き流し。裏二筋樋。ヤスリ目樋掻きやすり。青貝塗鞘。刀身に特別貴重認定書。小道具に貴重小道具認定書。														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。杓目肌。互の目丁子乱れ。小切先。大丸。生茎。栗尻。左上がりヤスリ目。金色二重ハバキ。「兼光」。すらっとして刃文が鮮明。															
																													
良いものは高い														兼光															
B・3-581	55	信高	67.9	1.5	1	江戸初	乱	3.2	0.8	1.9	0.4	684	神奈川36594	昭38	D・3-572	20	政長	48.3	1.4	1	江戸初	直	3.1	0.6	2.3	0.5	477	福島42206	昭48
さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目詰んで流れ肌交じり。湾れ気味の互の目。生茎。劔形。銀着せハバキ。黒叩塗鞘。八角形ツバ。「伯耆守藤原信高」。														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。杓目肌。直刃。大切先。小丸。生茎。栗尻。銅二重ハバキ。「陸奥国会津政長」。青森、会津虎徹とも言われた。六代続く刀匠。															
																													
信高														政長															
D・3-580	23	則光	45.2	1.0	1	室町末	乱	2.7	0.8	1.9	0.5	406	滋賀7712	昭43	C・3-571	32	重勝	60.3	1.9	1	昭和	乱	3.3	0.8	2.3	0.5	712	兵庫31224	昭35
さび、刃こぼれなし。板目詰んで梨子地風。互の目丁子。生茎。尻張。ヤスリ目右下がり。金着せハバキ。「備前長船則光」。														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目詰んで梨子地肌。直調に小互の目交じる。大切先。小丸。生茎。栗尻。きれいな茶皮軍刀拵。太身でしっかりとした刀身。															
																													
則光														重勝															
E・3-579	31	兼植	30.4	0.3	2	江戸初	乱	2.5	0.8	1.8	0.5	262	北海道38162	平21	E・3-568	19	無銘	49.3	1.2	2	室町末	乱	2.4	0.6	1.8	0.4	342	兵庫124912	令2
さび、刃こぼれなし。平造。小杓目交じる。互の目乱れ。生茎。劔形。棒樋丸留め。裏二筋樋。黒石目鞘。栗型。木瓜形ツバ。梅に鶯小柄付。「越前国住兼植」。														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目肌。直刃調に小乱れ二重刃かかる。摺り上げ茎。ヤスリ目横。きれいな黒漆ツヤ鞘。ツバ銀の線象嵌。長めの脇差。															
																													
兼植														漆鞘															
F・3-578	19	無銘	19.8	0.0	1	室町末	乱	2.2	0.6	1.4	0.4	115	福岡77759	昭59	F・3-567	26	正次	21.2	0.1	1	江戸末	乱	2.7	0.6	1.6	0.4	156	岡山108895	平4
さび、刃こぼれなし。平造。板目詰んで小杓目交じる。直刃に互の目交じる。生茎。栗尻。右下がりヤスリ目。銅二重ハバキ。黒塗ツヤ鞘。龍図の小柄付。														さび、刃こぼれなし。平造。板目詰む。互の目乱れに尖り刃交じる。生茎。栗尻。銅ハバキ。「水心子正次(花押)」。「天保十三年仲秋」。1850年高野長英死。															
																													
品のいい拵短刀														水心子正次															
刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
F・3-577	15	無銘	19.4	0	2	江戸末	乱	2.1	0.5	1.4	0.4	112	兵庫2025	昭26	D・3-566	12	無銘	49.8	1.1	2	室町末	乱	2.5	0.6	1.6	0.5	348	東京107478	昭36
さび、刃こぼれなし。鶴の首造。板目流れて柁がかかる。直刃に乱れ交じり。生茎。栗尻。ヤスリ目横。銅ハバキ。小ぶりながらしっかりとした短刀。珍しい鶴の首造。														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目乱れ続く。小切先。小丸。摺り上げ茎。ヤスリ目横。金塗銅ハバキ。細身の脇差。															
																													
珍しい鶴の首造の短刀														格安															
D・3-576	18	忠吉	44.1	0.6	1	江戸初	乱	2.8	0.6	2.1	0.4	390	長崎6816	昭31	D・3-565	18	輝広	39.7	1.0	1	江戸中	乱	2.9	0.6	2.0	0.4	327	広島49419	昭54
さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目に杓目。直調に互の目足入る。中切先。小丸。生茎。栗尻。木ハバキ。「肥前国忠吉」。佐賀藩のお抱え刀工。														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。杓目肌。小互の目交じり。中切先。大丸。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。二重ハバキ。「播磨守輝広」。兵庫の大名のお抱え刀匠。きれいな銚色の白鞘。															
																													
忠吉														輝広															
A・3-575	25	無銘	61.3	1.1	1	江戸初	直	2.8	0.7	2.0	0.4	544	福岡63493	昭48	D・3-564	15	盛國	42.6	1.2	1	江戸中	乱	2.8	0.7	1.7	0.4	362	東京177418	昭48
さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。杓目肌。直刃。小切先。小丸。生茎。尻張。左上がりヤスリ目。銀拵乗ハバキ。鍛え割れなく、刀(60cm以上)で格安!														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。小杓目詰む。互の目連なる。中切先。大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅ハバキ。「盛國」。虎徹とよく交わり作風が似ている。															
																													
格安														虎徹風															
F・3-574	13	正国	20.5	0	1	室町末	乱	2.3	0.7	1.5	0.4	126	大阪13156	昭28	D・3-563	22	兼光	53.2	1.2	1	江戸初	乱	3.0	0.7	2.0	0.5	520	東京111885	昭37
さび、刃こぼれなし。平造。板目肌。大互の目連なる。小切先。小丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。朱に黒交じりツヤ鞘。小判形鉄ツバ。糸巻なし鮫皮柄。表「相州住正国」。裏「天文九八月」。刀身に素人研ぎ格安!														さび、刃こぼれなし。鑄造。庵棟。板目詰む。互の目乱。大切先。大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。「備前国長船住兼光作」。鞘書。(鑑定書様なもの)。三ツ頭、刃文とも鮮明。															
																													
正国														兼光															

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B-3-562	29	無銘	67.0	1.5	1	昭和	乱	2.9	0.6	1.8	0.5	678	山形8652	昭28	D-3-553	12	兼久	39.2	0.4	1	江戸初	乱	2.6	0.6	1.8	0.5	269	京都37031	昭56
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目に詰んで梨子地肌。直刃。小切先。大丸。生茎。尻張。両面棒樋丸留。銅ハバキ。黒石目ツヤ鞘。丸形鉄ツバ。下緒付。超お買い得！														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目に杔目表わる。直刃に乱れ交じり。中切先。大丸。生茎。栗尻。檜垣ヤスリ目。銀着せハバキ。「兼久」。															
																													
B-3-561	62	国廣	63.8	0.9	3	江戸中	乱	2.9	0.6	1.8	0.5	588	広島7355	昭27	D-3-551	12	盛高	41.1	0.6	1	室町末	乱	3.2	0.8	0.9	0.5	429	東京200235	昭51
さび、刃こぼれなし。板目に杔交じり。直刃に湾れ。生茎。切。銅ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。鉄鑑。「藤原国廣」。新刀の祖。超大物刀匠。白鞘付。														さび、刃こぼれなし。板目肌。直刃調に乱れ交じる。生茎。栗尻。金塗ハバキ。「豊州高田住平盛高」。「永正三年八月日」。豊後刀。1506年、信長生まれる直前。															
																													
F-3-560	22	無銘	27.6	0.4	1	江戸初	直	2.6	0.5	2.1	0.5	240	宮城10494	昭33	A-3-549	58	茂虎	71.8	2.0	1	江戸末	乱	2.5	0.6	1.3	0.4	616	山梨18915	昭56
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。小杔目詰む。直刃。大切先。小丸。大摺り上げ。栗尻。金着せハバキ。小さき刀拵。鮫皮を磨いた白黒鞘。返角、栗型付。礼装用の上品な短刀。														さび、刃こぼれなし。杖鍛え。変化のある小互の目。生茎。栗尻。銅ハバキ。「森茂虎」。「嘉永二年八月日」。1849年桜田門外の変。日刀保認定書。															
																													
F-3-559	20	貞行	25.8	0	1	昭和	乱	2.6	0.6	1.6	0.3	160	和歌山20544	昭55	D-3-548	18	兼常	51.0	1.6	1	江戸初	乱	3.1	0.7	1.8	0.5	447	静岡40429	昭43
さび、刃こぼれなし。平造。板目に互の目連なる。生茎。栗尻。棒樋掻き流し。添樋。銅ハバキ。表「龍神太郎源貞行」。裏「昭和庚申正月吉日」。新作名刀展で数多く受賞。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れて杔目がかかる。小互の目連なる。両面棒樋丸留め。生茎。栗尻。銀着せハバキ。刃文鮮明。美濃の刀工「兼常」。信長と関係深し。															
																													
F-3-558	15	祐光	28.3	0.1	1	室町中	乱	2.3	0.6	1.5	0.4	174	栃木52555	平28	F-3-546	18	兼秀	23.0	0.0	1	昭和	乱	2.4	0.6	1.4	0.3	143	岐阜085410	令1
さび、刃こぼれなし。平造。板目流れる。直刃に大きく互の目交じる。生茎。素剣の彫。真鍮ハバキ。表「備前国長船祐光」。裏「宝徳三年八月日」。1452年。ゲーテンベルク印刷機発明。														さび、刃こぼれなし。平造。板目流れて杔がかかる。直刃に湾れかかる。小切先。鮮明な帽子。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。木ハバキ。「兼秀」。よく出来た短刀。昭和天皇に献上刀工。															
																													
刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D-3-557	11	無銘	54.0	1.7	1	江戸初	乱	3.0	0.6	2.1	0.4	466	新潟068921	平22	D-3-545	18	無銘	53.4	1.1	1	江戸中	乱	2.7	0.7	1.9	0.5	486	広島1741	昭26
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目に互の目連なる。中切先。生茎。栗尻。ヤスリ目見えず。銀着せハバキ。刀身地荒れあり。白鞘素材柄と鞘異なる。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌。大乱れひたつらかかる。中切先、大丸。生茎。栗尻。銀祐乗ハバキ。ヤスリ目みえず。三つ頭鮮明。大名登録。															
																													
E-3-556	22	照門	46.4	1.2	1	江戸初	乱	2.8	0.6	2	0.5	397	高知16966	昭43	D-3-544	15	利國	56.5	1.2	1	江戸初	乱	2.7	0.8	1.8	0.5	417	岡山89183	昭51
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目に杔目交じり。互の目乱。生茎。栗尻。銅ハバキ。黒塗ツヤ鞘。菊花形鉄ツバ。「丹波守照門」。近藤勇の愛刀。金物揃。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。大板目あらわる。直刃調に乱れ交じる。小切先、大丸。生茎。栗尻。金色ハバキ。「利國作」。細身ですらとした長脇差。あと4cmで刀。															
																													
A-3-555	35	直胤	61.3	1.7	1	江戸末	乱	3.1	0.8	2.1	0.6	702	山形10833	昭30	B-3-543	53	義定	67.4	2.2	1	昭和	乱	3.2	0.9	1.9	0.6	868	東京256744	平3
さび、刃こぼれなし。板目流れる。波文丁子。生茎。栗尻。銀着せハバキ。鞘書に「大慶直胤 昭和十八年仲秋鑑士」。「大慶直胤花押」。江戸時代代表の刀匠の一人。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰んで梨子地肌。互の目連なる。小切先。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。金色ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。「濃州関住義定作」。															
																													
D-3-554	15	無銘	54.8	1.4	1	江戸初	乱	2.8	0.6	1.9	0.4	450	福島32542	昭43	D-3-542	19	無銘	44.2	1.2	1	江戸中	乱	2.7	0.7	1.8	0.6	376	秋田9247	平15
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目に杔目交じり。直刃に小乱れ交じり。中切先。生茎。剣形。ヤスリ目横。銅ハバキ。安いわりに姿良し。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌あらわれる。大乱れ。中切先、大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅二重ハバキ。どっしりとした脇差。															
																													

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D-3-541	18	無銘	58.1	1.8	1	室町中	乱	3.0	0.7	1.7	0.5	522	愛知39100	昭46	A-3-531	51	無銘	67.4	1.0	1	江戸中	乱	3.0	0.7	2.1	0.5	650	神奈川80684	平31
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目よく詰む。直刃に少し乱れる。小切先、大丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅二重ハバキ。長めの白鞘脇差刀。値段の割には良い脇差。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れて子壺交じり。互の目乱れ。中切先、小丸。生茎。栗尻。平行なヤスリ目。銅ハバキ。地肌面白く見えあり。															
 あと1.9cmで刀														 地肌鑑賞に最適															
D-3-540	18	在銘	48.5	1.0	2	室町末	乱	2.5	0.7	2.0	0.6	477	熊本24877	昭42	E-3-530	22	無銘	31.8	0.5	1	江戸末	乱	2.9	0.7	1.9	0.5	267	埼玉28305	昭43
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌。尖り互の目、三本杉風。小切先、大丸。生茎。尻張。銅ハバキ。ヤスリ目みえず。「濃州住兼(以下切れ)」。鮮明な刃文。														さび、刃こぼれなし。鵜の首造。板目詰んで壺目たつ。直刃に互の目。生茎。栗尻。赤茶ツヤ鞘。小柄、こうがい付き珍品。															
 刃文鮮明														 拵完璧！小柄こうがい付															
C-3-539	31	眞光	68.2	1.8	1	室町末	乱	2.8	0.6	1.6	0.4	514	東京265681	平5	D-3-526	11	無銘	52.4	1.6	1	室町末	乱	2.8	0.8	1.4	0.4	441	東京231559	昭59
昭和13年製軍刀。さび、刃こぼれなし。板目流れる。直刃に小乱れ交じる。小切先。生茎。栗尻。眞鍮に銅着せハバキ。「眞光」。家宝の刀を持って戦地へ。														さび、刃こぼれなし。葛蒲造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目連なる。小切先。生茎。栗尻。銅ハバキ。刀身はあまりきれいでない為格安！															
 戦国時代														 11万円52.4cm格安！															
F-3-538	31	無銘	26.3	0.4	1	江戸末	乱	2.8	0.7	1.6	0.3	192	静岡29069	昭39	B-3-525	70	無銘	70.7	1.6	3	江戸初	乱	3.1	0.8	2.1	0.5	756	京都59796	令1
さび、刃こぼれなし。鵜の首造。板目に柁がかかる。直刃に乱れ交じる。生茎。栗尻。銅ハバキ。松代拵。黒石目鞘。小判形鉄ツバ。揃いの小柄、こうがい付。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れて柁がかかる。互の目乱れ。大切先、大丸。生茎。尻張。刻み入り銅ハバキ。黒塗りツヤ鞘。丸形透かしツバ。刀全体に芸術性あり。															
 小柄、こうがい付														 芸術性大															
E-3-537	31	無銘	35.4	0.8	1	室町末	乱	2.7	0.5	2	0.3	222	兵庫96237	昭57	A-3-523	26	長光	63.7	1.8	1	昭和	乱	3.1	0.7	1.9	0.5	694	兵庫90362	昭53
さび、刃こぼれなし。葛蒲造。板目詰んで壺目あらわる。互の目調の大乱れ。沸えからむ。生茎。栗尻。金二重ハバキ。小さ刀拵。朱と黒の変わり塗鞘。小判形鉄ツバ。川と虎図の小柄付。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。無地肌。互の乱れ。大切先、大丸。生茎。尻張。左上がりヤスリ目。銅ハバキ。陸軍受命刀匠「長光作」。															
 小柄付のきれいな刀														 陸軍受命刀匠															
刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年	刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
D-3-536	19	兼宗	55.7	1.1	1	昭和	乱	2.8	0.7	1.8	0.5	474	北海道9295	昭29	B-3-522	46	長松	69.6	1.0	3	江戸初	乱	2.8	0.7	1.6	0.5	650	青森3505	昭28
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰んで梨子地肌。互の目連なる。中切先、大丸。生茎。栗尻。鷹の羽ヤスリ目。銅ハバキ。「関兼宗作」。戦国時代より続いている刀匠。														さび、刃こぼれなし。板目流れて柁がかかる。直刃に小互の目足入り湾れがかる。金色ハバキ。黒石目鞘。丸形透かしツバ。縁に家紋3ヶ。表銘「備前国住長松」。裏銘「明暦三年九月日」。															
 兼宗														 明暦(1657年)備前刀															
A-3-534	31	無銘	64.7	0.1	3	江戸初	乱	3.0	0.7	1.8	0.4	586	徳島8419	昭38	D-3-521	12	無銘	43.5	1	1	室町末	乱	2.7	0.7	1.9	0.5	376	埼玉25288	昭42
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目肌。細かい互の目連なる。小切先、大丸。生茎。木ハバキ。反り0.1mmの直刀。ここまで真っ直ぐな刀は珍しい。														さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目詰む。互の目連なる。中切先、大丸。生茎。栗尻。ヤスリ目ないが、鉄味よく時代を感じる。横線入銅ハバキ。初心者向け。															
 直刀														 初心者向け															
D-3-533	30	吉勝	52.2	1.1	1	江戸初	直	3.1	0.7	2.1	0.4	514	東京27553	令2	F-3-519	20	正秀	18.1	0	1	江戸末	乱	2.2	0.6	1.4	0.3	117	静岡71178	平30
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目によく鍛えた地鉄を用い直刃をみごとに焼いている。「筑州住源信国吉勝」。延宝(1673年)福岡の巨匠。銃砲刀剣研究会鑑定書。														さび、刃こぼれなし。平造。梨子肌。鮮明な互の目乱れ連なる。帽子は返し深く珍品。生茎。劔形。左上がりヤスリ目。眞鍮ハバキ。江戸三作の「水心子正秀」銘入り。															
 延宝(1673年)福岡の巨匠														 水心子															
B-3-532	57	盛重	65.3	2	3	室町中	乱	3.0	0.7	2.0	0.4	632	北海道8056	昭29	B-3-515	53	兼吉	67.3	1.4	1	昭和	乱	3.1	0.8	2.1	0.5	786	東京321567	令1
さび、刃こぼれなし。鑄造、庵棟。板目流れる。互の目乱れ。中切先、小丸。生茎。栗尻。右下がりヤスリ目。銅に銀塗ハバキ。黒塗りツヤ鞘。丸ツバ松図。下緒付。「平盛重」。														さび、刃こぼれなし。無地肌。互の目丁子乱。大切先、大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。黒塗りツヤ鞘。二つ木瓜形鉄ツバ。「刻印関 吉田兼吉作」。折れず曲がらずを証明した関の刻印。															
 豊州刀平盛重														 珍品関の刻印															

刀番	万円	銘	刀身cm	反り	目釘	時代	刃文	元幅	元重	先幅	先重	重g	登録番号	登録年
B・3-514	57	兼明	66.8	1.7	1	昭和	乱	3.1	0.9	2.0	0.5	752	愛知76677	平30

さび、刃こぼれなし。無地肌。鮮明な互の目乱れ連なる。小切先、大丸。生茎。栗尻。銅ハバキ。きれいな黒塗ツヤ鞘。丸形透かし鉄ツバ。「濃州住栗山兼明」。



兼明

B・3-509	59	祐定	68.6	1.6	1	室町末	乱	3.0	0.8	1.8	0.5	684	新潟7686	昭29
---------	----	----	------	-----	---	-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	--------	-----

さび、刃こぼれなし。板目流れる。鮮明な互の目乱蛙子なる。小切先、大丸。生茎。栗尻。きれいな茶叩塗鞘。丸形透かしツバ。「備州長船住祐定」。有名な刀匠。



祐定

刀剣付属品

刀二振掛 三万五千円



高さ44cm

幅45cm

奥行23cm

手入れ用具入る引出付
組武式

手入れセット 六千六百元



手入れ用具

丁子油、打粉、拭い紙

目釘抜小槌

目釘入れケース
桐箱入り5点セット

短刀一振掛 一万円

高さ22.5cm

幅30cm

奥行12cm

